

歴史市民講座 参加者募集

淡路島と沼島の間には、「中央構造線」と呼ばれる大きな断層があり、日本が形造られる前からの痕跡が残っています。昔から市内各地でアンモナイトの化石が見つかっており、2004年には国生み神話から名付けられた新種の恐竜「ヤマトサウルス・イザナギイ」が注目を集め、人類誕生前から生き物の営みがあったことが知られています。また、「松帆銅鐸」は、日本史上、新たな発見がいくつもあり、当時の政権とのつながりがあり、古事記や日本書紀に度々登場したことから日本の歴史と深い繋がりがあったことが知られています。この講座では、恐竜が生きていた気の遠くなる遙か昔の淡路島から私たちに馴染みのある時代まで、変化に富んだ歴史文化遺産の魅力を体験してみましょう。



城郭研究家 本岡 勇一



日本城郭史学会評議員 坂井 尚登
軍事史学会会員

学ぶ楽しさには理由があります。

① 3つの「現」



現物



現場



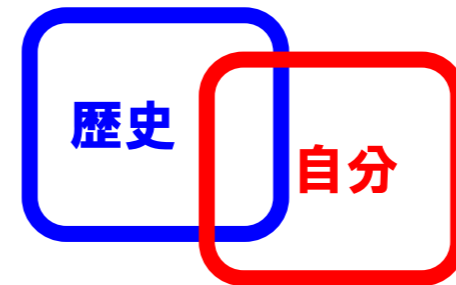
現地人

実物を見たり触れたりする機会を大切にします。本物から感じる事は十人十色です。

遺跡として残ってなくても、現場に立つと、目線、天候や風、地面を踏みしめる感覚など五感から当時の人の生活様式が想像できます。

文化財とは、介在する人が居て初めて「価値」が作られます。歴史的建造物や文化財のガイドなど「現地人」の価値観や想いに触れてみましょう。

② 主体性（自ら進んで学ぶ）



「自分らしさ・共有ゾーン」
「歴史」と自分の「興味」の共有ゾーンを意識しましょう。様々な講義や体験の中から自分が何に興味があるのか探ってみましょう。





「話す・聞く」
講師やガイドの話を聞き、自分の考えを伝えてみましょう。自分の考えがまとまり、知識が広がり、学習の効果が高まります。

「反復学習」
「1回で完璧に覚える」必要はありません。覚えないうけないという義務感が、学びを遠ざけます。何度も学び、知識を深めると新たな発見が生まれ、学ぶ楽しさに繋がります。

日時・場所	内容	定員	参加費
4月6日（土） 終日 宇治市 （緑庁舎跡発） 大型バス	フィールドワーク「源氏物語の地を訪ねて」 現在、放送中のNHK大河ドラマ「光る君へ」の原作「源氏物語」は世界最古の長編小説として世界中で親しまれています。源氏物語全54話のうち最後の10話は「宇治十帖」とよばれ、主人公光源氏の死後を描かれています。宇治には光源氏のモデルになったと言われる人物、源融（みなもとのとおる）の別荘「平等院」があり、現在でもゆかりを感じます。当時の貴族の暮らしぶりと宇治を舞台に繰り広げられる切ない悲劇の物語に想いを寄せて、宇治川を歩いてみましょう。 行程 源氏物語ミュージアム・宇治上神社・平等院ほか 解説 宇治市観光ボランティアガイド	50人	7,000円
4月20日（土） 13：30～15：00 市役所第二別館 多目的ホール	講演会「大坂城真田丸 -地形と絵図・旧版地形図・空中写真から復元したその姿-」 慶長19年（1614）、大坂冬の陣が勃発しました。大坂方は、徳川軍襲来に備え、城外にも多くの砦を構えました。そのうち、南東城外に築かれた出城が有名な真田丸です。真田丸については、都市化の進んだ大阪では遺構が残されておらず、絵図面から半円形の馬出であると思われてきました。しかし、地形と資料を丹念に考察すると従来いわれてきたものと異なる姿が浮かんできました。  講師 坂井 尚登 日本城郭史学会評議員 軍事史学会会員 豊臣軍の重臣「真田幸村」	100人	500円



だから 楽しい歴史市民講座！是非ご参加ください。

日時・場所	内容	定員	参加費
5月11日(土) 12日(日) 12:10~15:00 集合 沼島港旅客ターミナル *11日(土)と12日(日)は同一内容です。	講演会・フィールドワーク 《兵庫県立人と自然の博物館共同主催事業》 「ジオの教室 in 沼島 淡路で一番古い地層はここにある！」 兵庫県の最南端、沼島(ぬしま)を舞台に県内では沼島でしか見られない地層や、世界的にも珍しい形の石、大昔の地震などについて紹介します。 内容 12:10~12:30 ツアー「沼島の石を見てみよう～さや状しゅう曲と結晶片岩～」 12:30~15:00 展示 「南あわじの石や化石」 13:00~13:40 講演①「淡路で一番古い沼島の地層」 13:50~14:30 講演②「岩石に残る大昔の南海地震の記録」 12:30~15:00 ワークショップ「アンモナイト化石のレプリカ作り」 講師 生野賢司 兵庫県立人と自然の博物館 研究員 加藤茂弘 兵庫県立人と自然の博物館 研究員 	両日 20人 注1	無料
5月18日(土) 13:30~15:00 市役所第二別館 多目的ホール	講演会「城郭の魅力・デジタル技術の活用について」 城郭(お城・要塞)はうまく現代に溶け込んでいるものもあれば、時代とともに消滅しているものも少なくありません。近年、「お城が好き」という芸能人が増えテレビ番組になり、まちおこしや地域活性化の手段として「お城」が取り上げられるなどブームの兆しがあります。令和3年度から南あわじ市歴史市民講座に登場し、これまでの取り組みやデジタル技術を活用したお城事情などをご紹介します。 講師 本岡勇一 城郭研究家・CGディレクター  	100人	500円
5月25日(土) 10:00~12:00 吹上浜	フィールドワーク 《兵庫県立人と自然の博物館共同主催事業》 「身近な地域の自然と歴史 シリーズ①吹上浜で植物と岩石を観察しよう～足もとから探る地域の自然と大地の歴史～」 吹上浜では砂浜のほか、礫浜、岩場など多様な海岸環境がみられます。その多様性に応じ、現地では様々な海岸植物を見ることができます。また、その植物相は地史や過去の環境とも関連し、形成されてきました。海辺でみられる植物と岩石の特徴から地域の自然と大地の歴史について考えましょう。 講師 黒田有寿茂 兵庫県立大学 准教授 生野賢司 兵庫県立人と自然の博物館 研究員 	20人 注1	無料

日時・場所	内容	定員	参加費
6月1日(土) 終日 兵庫県佐用町 (緑庁舎跡発) 大型バス	フィールドワーク 「利神城 平福御殿屋敷跡」 利神城は池田家が姫路城の支城として、1600年に築かれ、その麓の「平福御殿屋敷跡」には城主や重臣たちが住んでいました。屋敷跡は平成21年に発掘調査が行われ、鬼瓦や軒丸瓦などの瓦類をはじめ、中国産の白磁の破片など数百点の遺物も出土している。 西播磨県民局では管内4市3町とともに地域に130以上ある山城をはじめとする史跡や伝統文化体験を活かして西播磨地域への誘客を図る「西播磨山城復活プロジェクト」に取り組んでいます。利神城は史跡保護のため入山禁止になっていますが、今回はガイド同行の元、特別に入城できます。 街歩き平福御殿屋敷跡には、遺物や復元イメージ図など展示され、城下町の暮らしぶりが分かります。 ☆山城コース 利神城 (最大20人) ☆街歩きコース 平福御殿屋敷跡ほか 講師 本岡勇一 城郭研究家・CGディレクター 春名政男 佐用町山城ガイド ほか 	50人	8,000円
6月8日(土) 13:00~15:00 吹上浜	フィールドワーク 《兵庫県立人と自然の博物館共同主催事業》 「身近な地域の自然と歴史 シリーズ② 身近なクモの観察会 in 吹上浜」 昆虫採集の経験はあるけど、クモを積極的に探した経験がある方は、それほど多くないと思います。しかし、私たちの身近には様々なクモたちが生息しています。どのようなクモが、どのような生活をしているのか、一緒に観察しましょう。 講師 山崎健史 兵庫県立大学 准教授 鈴木佑弥 徳島県立博物館 学芸員  	10人 注1	無料

注1 小学生以下は保護者も参加申込み必要

《備考》

- ① 一次締め切り 3月22日(金)【必着】
- ② 一次締め切り後、参加決定通知書を送付します。
- ③ イベント中のケガ・事故等は保険で対応します。
- ④ イベントの様子は広報のため使用します。

申し込み・問い合わせ

- ① FAX 0799-42-3806
- ② 持参(平日9:00~17:00)
〒656-0455 兵庫県南あわじ市神代国衙1100
- ③ メール maizoubunkazai@city.minamiawaji.hyogo.jp
- ④ 市ホームページ申込みフォーム
「南あわじ市 歴史市民講座」で検索